2023 年 12 月 20 日作成　Ver.1.0

≪情報公開文書≫

上顎原発扁平上皮癌の T4a 症例に関する臨床統計学的検討

研究の概要

【背景】
世界の口腔癌の患者数は全癌中の 2%であり、病理組織学的に口腔がんの 90%以上は扁平上皮癌です。上顎原発扁平上皮癌はまれな疾患で、口腔扁平上皮癌全症例の約 6-7%しかありません。上顎は解剖学的に複雑な構造なため、癌がこれらに近接または浸潤していると、明確な切除領域が決めづらく、疾患の制御が困難になることもあります。過去の報告で、咀嚼筋間隙や翼状突起に浸潤している T4b 症例に対する術式が検討され、治療経過は概ね良好であるとされています。しかしながら、T4a 症例についての検討はいまだに報告されていません。
※T4a がより深部まで進展すると T4b となります。

【目的】
上顎原発扁平上皮癌と診断された T4a 症例についての治療結果に関連する因子を明らかにすることを目的としています。

【意義】
同様の疾患に罹患した患者の生存率の向上につながることが期待できるため、本研究は意義があります。

【方法】
長崎大学病院口腔外科に受診し、上顎原発扁平上皮癌と診断され手術療法を行った患者を抽出し、長崎大学病院口腔外科口腔癌データベースより予後に関連した項目を定め、T4a 症例の治療結果に関連する因子を明らかにします。

対象となる患者さん

① 上顎原発扁平上皮癌診断時に 18 歳以上の方
② 2008 年 7 月 1 日から 2022 年 9 月 30 日までの間に長崎大学病院口腔外科を受診し、T4a の上顎原発口腔扁平上皮癌と診断され手術療法を行った方
③ 上顎原発扁平上皮癌に初めて罹患した方
④ 原発部位ならびに頸部、また、他のがん種に対する治療も含めて化学療法、放射線療法、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬いずれも治療歴がない方
⑤ 上顎原発扁平上皮癌に対する術前治療が行われていない方
⑥ 術後、定期的な診察が可能な方

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

・患者背景：診断時年齢、性別、PS、既往歴、喫煙歴、飲酒歴

・対象疾患の診断日、治療終了日（手術日または術後補助療法終了日）

・UICC 第８版に基づく cTNM 分類、pTNM 分類、病期(stage)分類

・手術時の病理組織学的所見(組織学的分化度、Y-K 浸潤様式、リンパ管浸潤、脈管侵襲、神経周囲浸潤、切除断端(陽性、陰性))

・治療経過

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2024 年３月 31 日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院　口腔外科 氏名：三浦　桂一郎 住所：長崎県　長崎市　坂本１－７－１ 電話：095（819）7698
情報の管理責任者	長崎大学病院　病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院　口腔外科　三浦 桂一郎

〒852－8501　長崎市坂本１丁目７番１号

電話：095（819）7698　　FAX　095（819）7700

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室　095（819）7200

受付時間　　：月～金　8：30～17：00（祝・祭日を除く）